

内発協が講師 2 名を派遣

神戸・京都の消防局が自家発電研修会

神戸市消防局予防部査察課の主催による「平成28年度課内研修会」が9月30日、京都市消防局と一般社団法人京都消防設備協会との共催による「消防用設備等技術研修会」が10月19日、それぞれ開催された。

神戸市消防局の研修会は、消防用設備等やその非常電源として設置される自家発電設備の検査業務に従事する神戸市消防局、及び兵庫県内自治体の消防局査察事務担当者を対象としたもので、計83名の参加により行われた。

一方、京都市消防局と京都消防設備協会との共催の研修会は、京都市消防局、及び京都府内自治体の消防局査察事務担当者、並びに京都消防設備協会の方を受講対象としたもので、消防局職員81名、京都消防設備協会の会員44名の計125名の参加により行われた。

防災用自家発電設備の製品認証に関する登録認定機関として、また、自家発電設備の専門技術者を養成する機関としての内発協は、研修会開催の趣旨に賛同し、全面協力することとして講師を派遣した。

各研修会では、電気の基礎知識、発電機及び原動機の原理など「自家発電設備の技術的な基礎知識」、また「自家発電設備の法令」、さらに「自家発電設備設置後の維持管理の重要性及び不具合事案」について、パワーポイントを用いて内発協技術職員2名がテーマごとに分担して、講義が行われた。

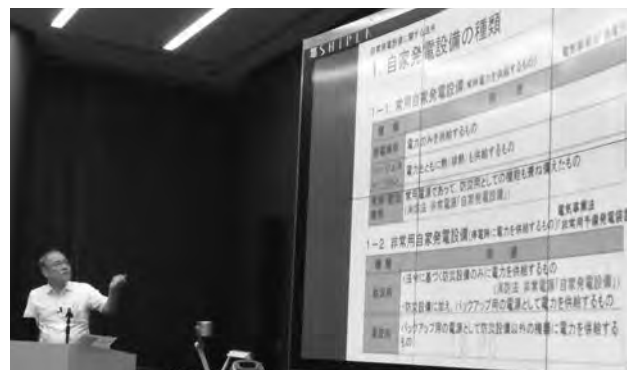
神戸市の研修会においては、講義の終了後も熱心に質疑応答が行われ、盛況なうちに閉会した。

一方、京都市の研修会においては、総務省・消防庁予防課の設備担当官を講師に迎え、「予防行政の動向」と題する講演も行われた。

今回、内発協では、神戸市消防局、京都市消防局、及び京都消防設備協会からの依頼を受けて、2名の講師を派遣した。今後とも、自家発電設備に関する研修会に対して消防機関などからの講師派遣の依頼を受けた場合、内発協では積極的に要望に応えていくこととしている。



神戸市消防局の研修会



講師は内発協の館野製品認証部長



京都市消防局と京都消防設備協会による研修会



講師は内発協の沼田技術部長